

我孫子市の公園・緑地の鳥類センサス結果報告 (2003年、2010年、2011年)

塩田いづみ

キーワード：我孫子市、公園緑地、鳥相、センサス

はじめに

我孫子市には211カ所の公園がある(我孫子市の統計、2010)。その中で特徴の異なる代表的な3つの公園(近隣公園2、都市緑地1)と市民の森を選び、鳥類調査を実施した。駅に近い都会の中の近隣公園(1ha)、多様な環境要素を持つ近隣公園(3ha)、常緑樹落葉樹混合の斜面にある都市緑地(2.7ha)、常緑樹落葉樹混合でスギが多い暗い緑地(国有地を含むと3.2ha)の4カ所である。

この調査の主な目的は、各公園の鳥相の違いを知り、それぞれの公園緑地の特徴と鳥の関係を見ることにある。

ここでは、2003年、2010年、2011年の鳥類センサス結果を報告する。

調査地と調査方法

調査地は、宮ノ森公園(我孫子市布佐)、中里市民の森(我孫子市中里)、天王台西公園(我孫子市天王台)、根戸船戸緑地(我孫子市船戸)を対象とした(図1)。

宮ノ森公園の環境構成は、斜面林、平地(芝生広場)、用水路、池、小さなヨシ原、小さなハス池とみな小面積ではあるが多様な要素からなる公園である。樹木は落葉樹が多く、ケヤキ、サクラ、イチョウ、メタセコイアなどがある。常緑樹ではスギ、マツ、クスノキ、タブノキなどがある。低木も多く、ツツジ、レンギョウ、アオキ、ユキヤナギ、アジサイなど公園によく植栽されるものが多い。また、小学校や、保育園などの児童たちに利用されることも時々あり、散歩の人なども利用している。周辺には、学校、住宅地、線路がある。

中里市民の森は、常緑樹のスギが多く、シラカシ、アカマツなどの常緑樹のほか、イヌシデ、コナラ、コブシ、クリ、サクラなどの落葉樹がある。全体的には常緑樹が多い。片側は斜面林となっている。散歩の人などの利用者はほとんどいない。周囲は畑と住宅地、神社がある。

天王台西公園は、駅から近い都市型公園で、外縁の樹木(常緑樹ではマテバシイ、クスノキ、ヤマモモ、落葉樹ではユリノキ、サンゴジュ、サク



図1 調査地

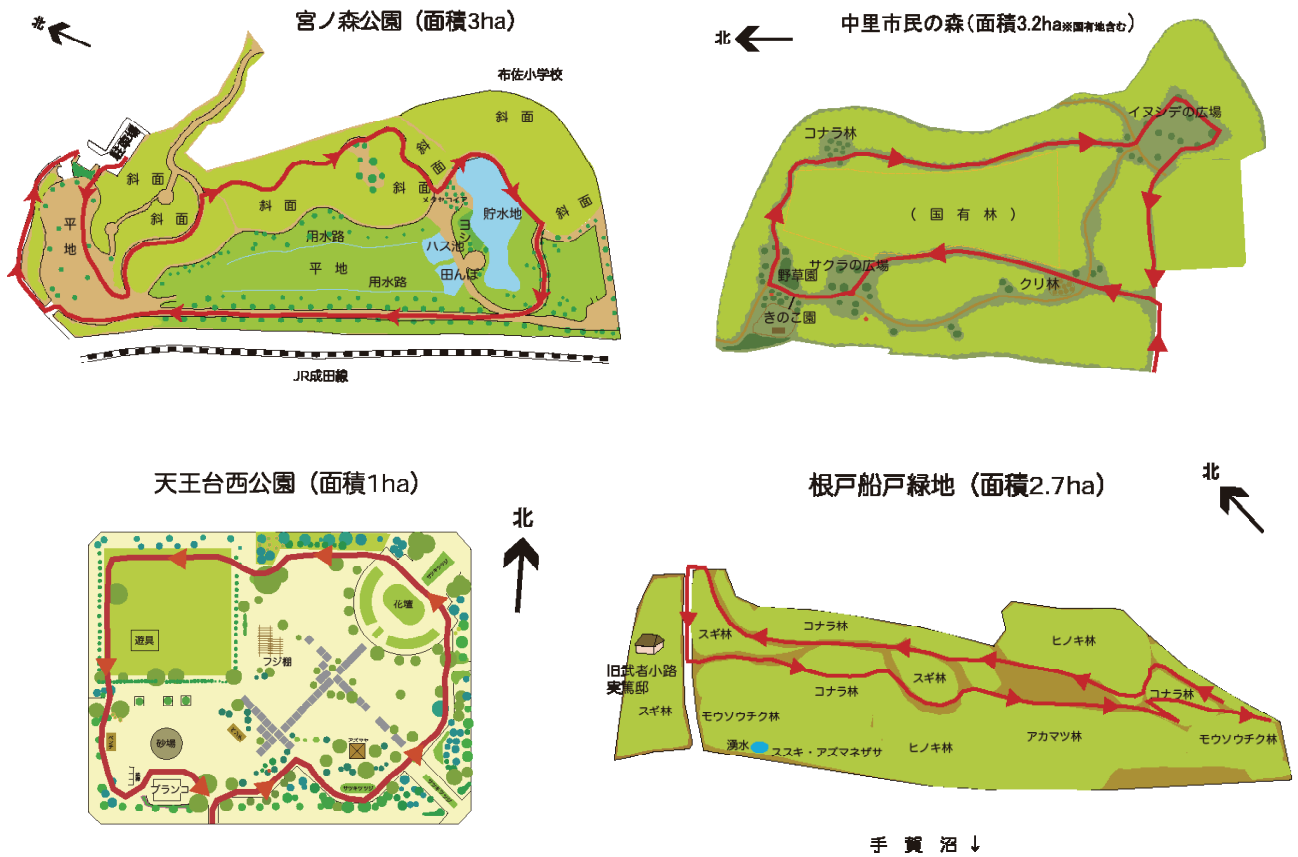


図2 センサスルート

ラなどがある)と園内の中低木の樹木(ケヤキ、コナラ、サンゴジュ、ツツジなど)があるが、公園全体が開けた場所である。駅へ向かう人達の通路にもなっている。

根戸船戸緑地は、斜面にあり常緑樹と落葉樹の混合した林である。常緑樹では、サワラ、ヒノキスギ、シラカシ、ヒサカキなど、落葉樹ではコナラ、ケヤキ、クヌギ、エゴノキ、ゴンズイなどがある。イヌの散歩の人がよく利用している。周囲は住宅地と畑である。

調査方法は、ルートセンサス法でおこなった。調査地内に設定したルート(図2)の両側それぞれおよそ50mの範囲内で姿あるいは声で確認できた鳥の種類と個体数を記録した。調査は2003年、2010年、2011年の毎月1回行ない、時間帯はおよそ午前9時~12時の間、天候は晴れもしくは曇りの日に行なった。

結果

付表1~4に各公園の鳥類センサス結果を示す。宮ノ森公園で、2003年4月~2004年3月は7目19科30種、2010年は5目17科27種、2011年は

7目18科30種の鳥類を確認した。中里市民の森で、2003年4月~2004年3月は4目15科26種、2010年は4目14科24種、2011年4月~2004年3月は4目14科22種の鳥類を確認した。天王台西公園で、2003年4月~2004年3月は3目12科14種、2010年は3目13科15種、2011年は3目11科13種の鳥類を確認した。根戸船戸緑地で2003年4月~2004年3月は4目15科21種、2010年は3目14科22種、2011年は3目15科25種の鳥類を確認した。

各公園の年間総個体数と種類数を図3に示した。4つの公園の中では宮ノ森公園が個体数、種類数とも最も多かった。個体数、種類数が最も少ないのは天王台西公園であった。

鳥類センサス結果(付表1~4)より各公園の個体数と種類数の月変化を図4、5に示した。天王台西公園では個体数、種類数ともあまり季節変化は見られなかった。他の3つの公園については、個体数、種類数とも、冬に多くなり、夏は減少する傾向が見られた。留鳥、夏鳥、冬鳥の割合は図6に示した。ここで言う留鳥、夏鳥、冬鳥とは、我孫子市周辺における繁殖、越冬を基準に区分し

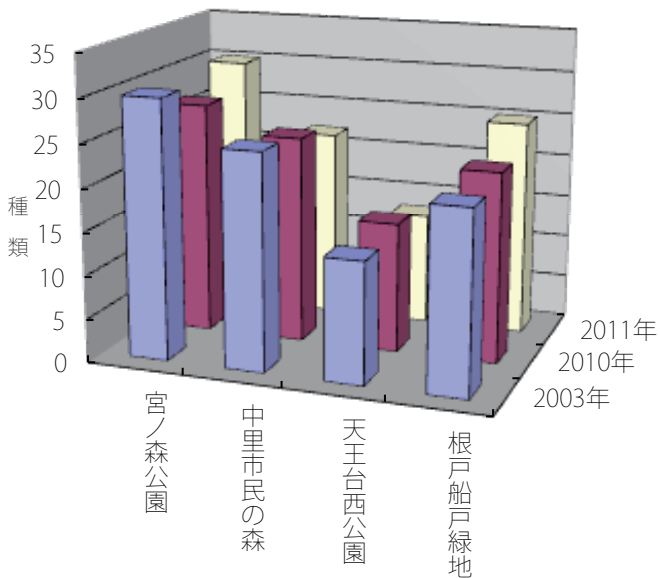
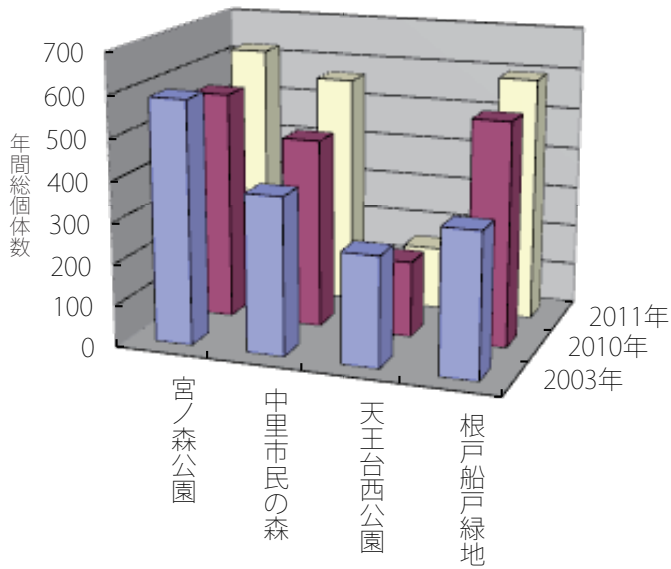


図3 各公園の鳥類の年間総個体数と種類数

たものである。

根戸船戸緑地、中里市民の森は冬鳥の割合が高かった。

各公園の年別優占種を図7に示した。宮ノ森公園の最優占種はヒヨドリ、次いでメジロであった。2003年ではヒヨドリとスズメが最優占種であった。中里市民の森の最優占種はヒヨドリ、次いでカワラヒワもしくはメジロであった。天王台西公園の最優占種はスズメ、次いでヒヨドリもしくはメジロであった。根戸船戸緑地の最優占種はヒヨドリ、次いでメジロもしくはキジバトであった。天王台西公園以外の3つの公園の最優占種はヒヨドリであった。天王台西公園の最優占種はスズメであった。

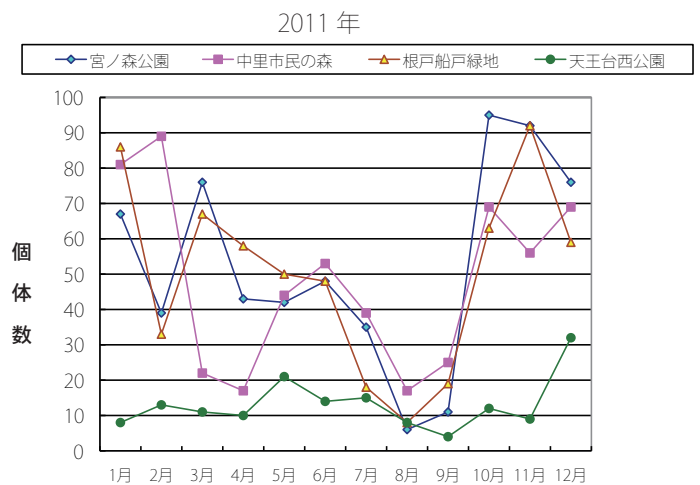
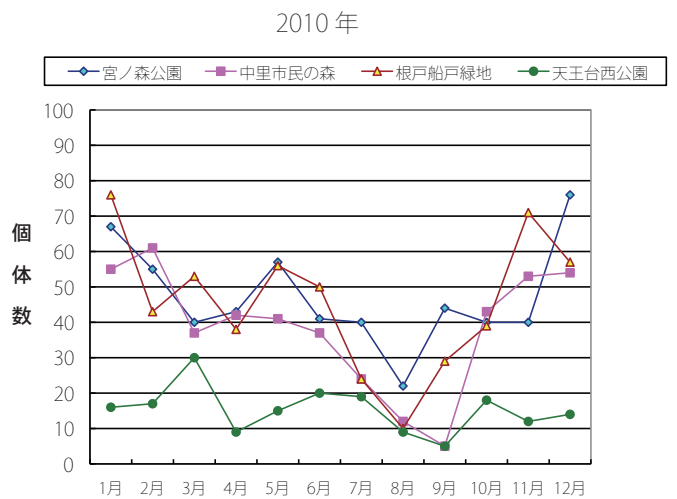
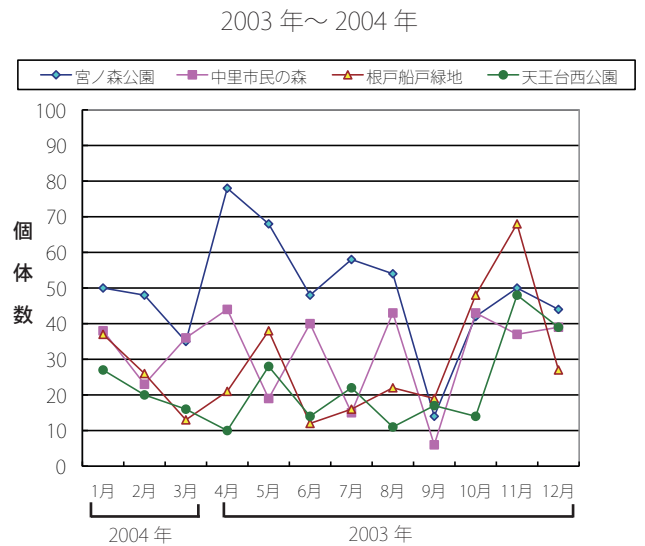


図4 鳥類個体数の月変化

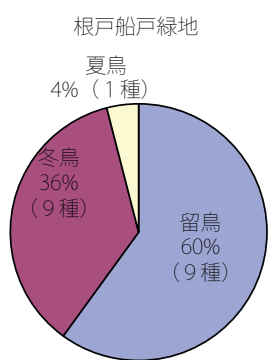
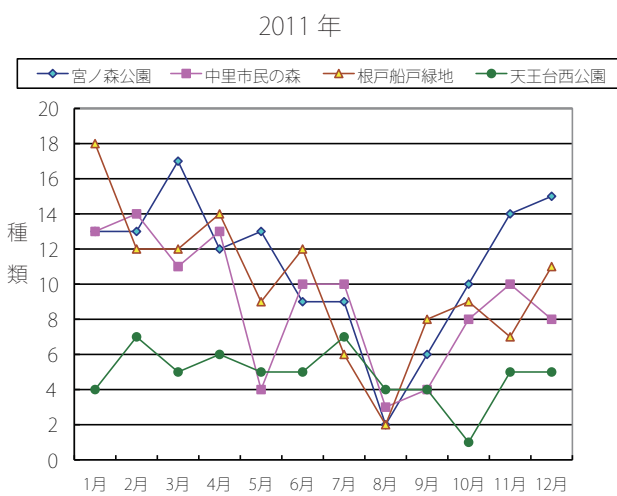
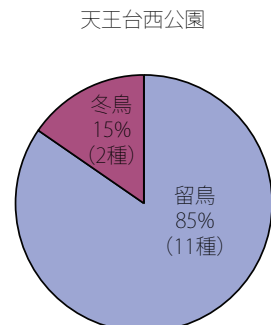
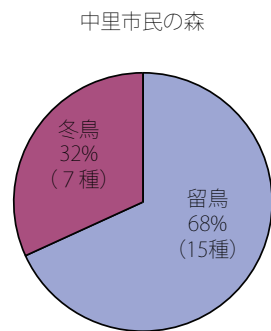
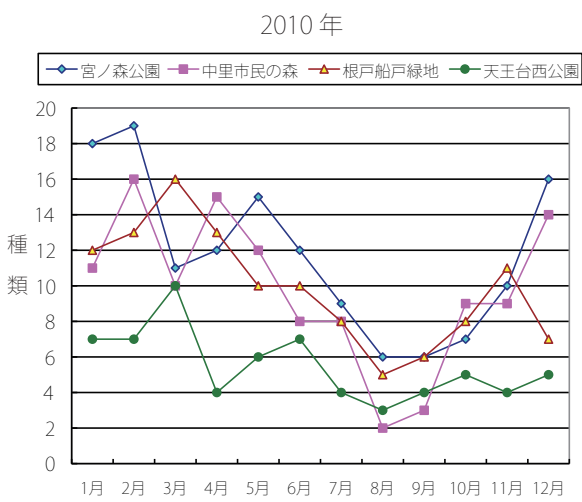
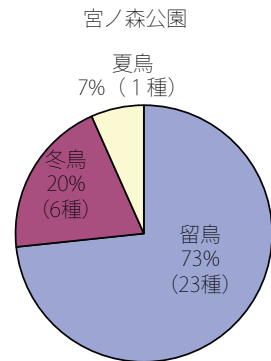
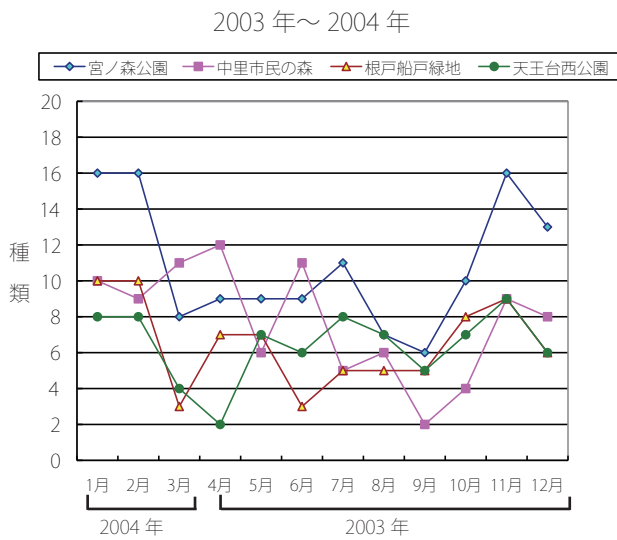


図5 鳥類種類数の月変化

図6 各公園の渡り鳥の割合 (2011年)

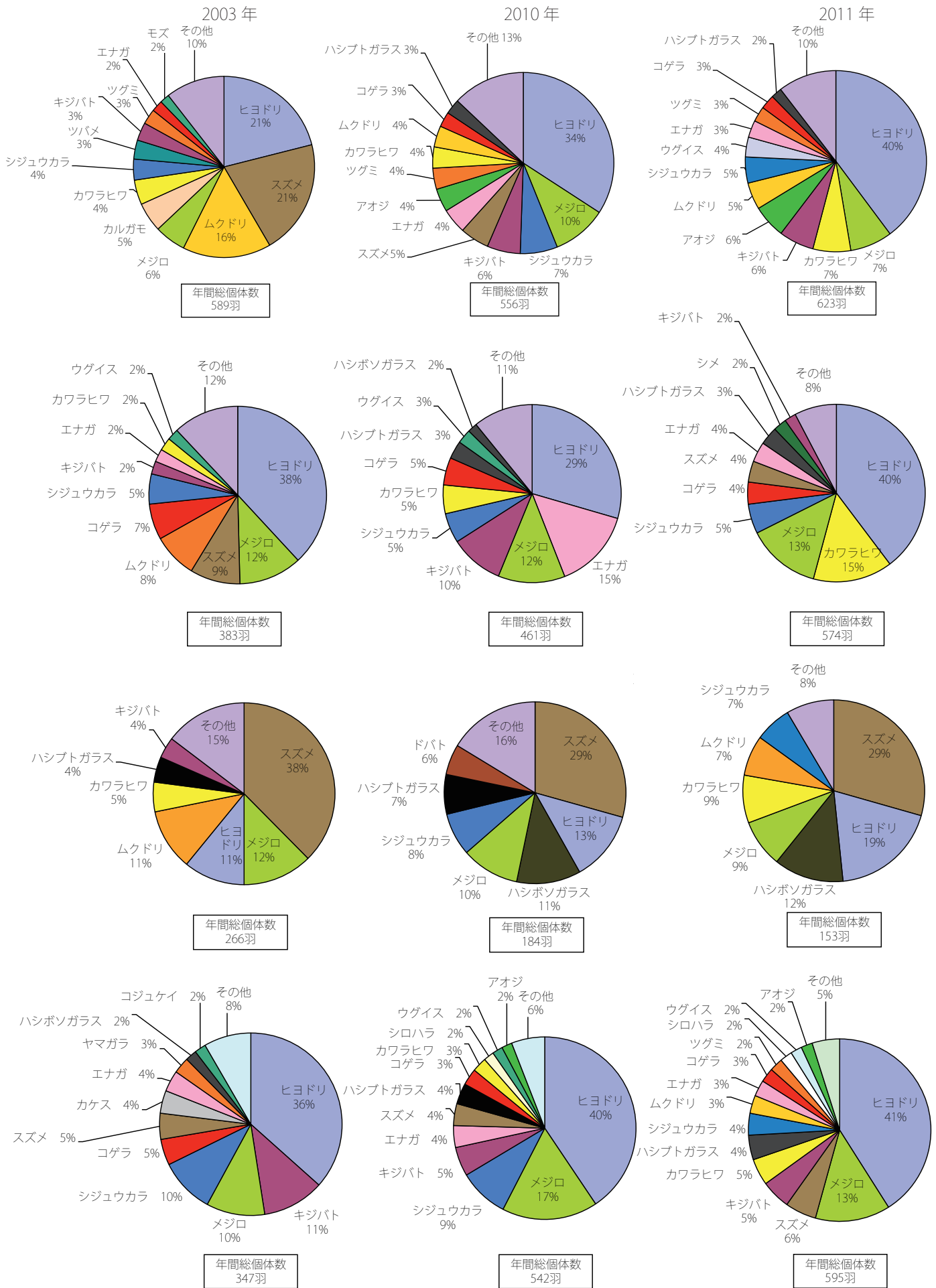


図7 各公園の優占種

まとめ

調査の結果、各公園の鳥相の特徴は次の通りであった。

宮ノ森公園は、他の公園では見られないカワセミ、サギ類が入ることがある。小さな池や用水路には水生生物がいて、これらの鳥の餌場となっている。また、ツミのオスがメスに餌を受け渡している様子を観察した(2011年6月9日)。メスはある程度獲物(小鳥)をさばくとそれをくわえて南西の方角へ飛び去って行った。近隣での営巣の可能性が高い。

宮ノ森公園は、小学校や、保育園などの児童たちに利用されることも時々あり、散歩の人なども利用しているが、その割には鳥類がいる印象を受けた。鳥の生息場所としての公園を考えたとき、ある程度の面積(3ha)があり、多様な環境要素とともに人が立ち入れない区域があると、鳥が生息場所として利用しやすいと予想できた。

中里市民の森は、常緑樹落葉樹混合の緑地であるがスギなどの常緑樹が多く暗い緑地である。主要な鳥類としてはヒヨドリ、シジュウカラ、エナガ、コゲラ、メジロなどである。この緑地でも、ヤマガラは巣立ちビナ2羽を確認した(2004年6月9日)。これらの緑地でヤマガラが繁殖している可能性が示唆された(2004年は1年を通してセンサス調査が出来ていないため付表にセンサスデータは示していない)。また、中里市民の森では、アカゲラを観察した(2010年2月19日)。我孫子市内では、岡発戸の谷津田で観察記録がある(2001年11月、2002年1月、3月：我孫子市鳥の博物館、2002)。千葉県レッドデータブック(2011、千葉県)によると県内でのアカゲラの個体数は多くない。

天王台西公園は、駅から近い都市型公園で、公園全体が開けた場所である。優占種はスズメであった。また、公園内の同じ樹木にハシボソガラスが営巣しているのを確認している(2010年、2011年)。天王台西公園は他の公園と違って、個体数、種類数ともに季節変化がほとんど見られなかった(図4、5)。これは出現した鳥類のほとんどが留鳥であったためである。

根戸船戸緑地は、公園のような開けた場所はなく、常緑樹落葉樹混合の緑地である。ヒヨドリ、シジュウカラ、エナガ、コゲラ、メジロなどが主要な鳥類である。根戸船戸緑地で、ヤマガラは巣立ちビナ3羽を確認した(2004年5月25日)。この緑地でヤマガラが繁殖している可能性が示唆された(2004年は1年を通してセンサス調査が出来

ていないため付表にセンサスデータは示していない)。

各公園の特徴を短くまとめると、宮ノ森公園は調査した公園の中では鳥類の多様性(種類)が高かった。中里市民の森の鳥相は、林にすむ鳥類が中心あることがわかった。天王台西公園の鳥相はほぼ留鳥で数、種類とも変化がない都市型公園の特徴がでていた。根戸船戸緑地の鳥相は、林に生息する鳥類が中心で、冬鳥の割合が高かったので冬鳥によく利用されている緑地という特徴がわかった。また、各公園ではさえずりや巣立ちビナ、営巣の確認をしていることから、これらの公園緑地は鳥の繁殖場所としても利用されていることがわかった。

今後の課題としては、公園内の樹木の種類と量、配置、公園内への人の入り込み数と鳥類の利用状況などの視点を取り入れ、多様な鳥相を維持するための公園の条件などを考察していきたい。

引用文献

- 我孫子市. 1985. 都市公園台帳. 天王台西公園. 我孫子市, 千葉.
- 我孫子市. 1992. 都市公園台帳. 宮ノ森公園. 我孫子市, 千葉.
- 我孫子市. 2010. 統計. 我孫子市総務部総務課, 千葉.
- 我孫子市鳥の博物館. 2002. 岡発戸の谷津田の鳥と自然(資料集). 我孫子市鳥の博物館, 千葉.
- 千葉県. 2011. 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—動物編. 千葉県環境生活部自然保護課, 千葉県.
- 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録 改訂第6版. 日本鳥学会, 北海道.

付表1 宮ノ森公園鳥類センサス結果

宮ノ森公園	2003年												2004年												2010年												2011年											
	※	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計								
チュウサギ	夏						1							1																																		
コサギ	留									1				1																																		
アオサギ	留																																															
カルガモ	留																																															
オナガガモ	冬																																															
ツミ	留																																															
ハイタカ	留																																															
キジ	留																																															
タゲリ	留																																															
キジバト	留	4	1	2	1	2	1	2	2	1	2	2	1	2	19	4	3	2	3	1	3	5	4	5	2	1	33	2	6	4	5	1	2	5	2	6	5	1	39									
カワセミ	留																																															
コゲラ	留	2	1	1	1	1	1	2	1	1	3	1	1	2	9	3	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2	15	3	1	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	16								
ツバメ	夏	4	4	5	4	3									20				5	3	2						10																					
ハクセキレイ	留														5	1	1	1									6																					
セグロセキレイ	留														1																																	
ヒヨドリ	留	15	4	7	3	7	7	19	17	15	5	8	124	17	7	14	22	9	11	13	11	12	25	18	31	190	18	8	24	19	11	9	19						248									
モズ	留																																															
ルリビタキ	冬																																															
ジョウビタキ	冬																																															
トラツグミ	冬																																															
アカハラ	冬																																															
シロハラ	冬																																															
ツグミ	冬	5																																														
ウグイス	留																																															
エナガ	留																																															
ヤマガラス	留																																															
シジュウカラ	留	2	5												22	5	2	4	2	9	1	4	5	3	5	37	4	1	3	2	6									29								
メジロ	留	5	4	3											34	8	6	2	3	9	5	1	3	4	13	54	9	2	7	2	2	2	2						47									
ホオジロ	留																																															
カシラダカ	冬																																															
アオジ	冬																																															
カワラヒワ	留	6	6	7	1	3									26	6	1	3	3	1							21	6	6	6	2	2								42								
イカル	冬																																															
シメ	冬																																															
スズメ	留	29	11	28	15	1									10	1	3	2	2	2	3						29	3												6								
ムクドリ	留	12	17	9	9	22	1	0	4	5	2	12	93	2	2	3	9	5									21														30							
カケス	冬																																															
オナガ	留																																															
ハシボソガラス	留																																															
ハシブトガラス	留	1													4	1	2	1	2			3	1	2	1	15	1	2	2	2									2									
コジュケイ	留																																															
シロハラorアカハラ	留																																															
ジョウビタキorルリビタキ	留																																															
ハシボソorハシブトガラス	留																																															
個体数		78	68	48	58	54	14	42	50	44	50	48	35	589	67	55	40	43	57	41	40	22	44	40	40	75	556	65	38	76	43	42	48	35	6	11	95	90	74	623								
種 類		9	9	9	11	7	6	10	16	13	16	16	8	30	18	19	11	12	15	12	9	6	6	7	10	15	27	13	13	17	12	13	9	9	2	6	10	13	14	30								

※ 渡り鳥の区分 (留鳥、夏鳥、冬鳥) の基準は本文中に記載

付表3 天王台西公園鳥類センサス結果

天王台西公園	2003年												2004年												2010年 天王台西公園												2011年 天王台西公園																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計														
※																																																					
キジバト	留	1	1	5	2							1							2	1						3	9																										
コガラ	留						1	4	2				7											1	1	1																											
ツバメ	夏	3	2	2								7					1									1																											
ハクセキレイ	留	1	1	1				2				6	3	1	1											5																											
ヒヨドリ	留	3	1	2	1	2	5	8	3	1	2	29	3	2	3	3	1										23	4	2	1	1	1	1	1	2																		
モズ	留																									1																											
ジョウビタキ	冬								1				1													2	1																										
ツグミ	留												2	3	3											2	1																										
エナガ	留																																																				
シジュウカラ	留																																																				
メジロ	留																																																				
カワラヒワ	留																																																				
スズメ	留	7	16	6	5	2	4	2	6	29	8	7	8	100	3	5	6	4	11	13	6	1	2	3	54	5	5	1	13																								
ムクドリ	留	4	2	5	2	7	1	1					3	4	29	3										8	1																										
ハシボソガラス	留																																																				
ハシブトガラス	留	2	2	1	1																																																
ハシボソorハシブトガラス	留																																																				
ドバト	留																																																				
個体数		10	28	14	22	11	17	14	48	39	27	20	16	266	16	17	30	9	15	20	19	9	5	18	12	14	184	8	13	11	10	21	10	15	8	4	12	9	32	153													
種類		2	7	6	8	7	5	7	9	6	8	8	4	14	7	7	10	4	6	7	4	3	4	5	4	5	15	4	7	5	6	5	4	7	4	4	1	5	5	13													

※ 渡り鳥の区分（留鳥、夏鳥、冬鳥）の基準は本文中に記載

付表4 根戸船戸緑地鳥類センサス結果

根戸船戸緑地	2003年												2004年												2010年 根戸船戸緑地												2011年 根戸船戸緑地															
	※	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計												
ツミ	留																																																			
キジバト	留	2	2			4	7	1	6	9	2	5	38					6	1	4	2	2	1	2	1	1	28	6	2	9	5	1																				
コガラ	留	3		3		1	3		4	3	2		16					1	3	2	1	3	1	1	2	16	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
ツバメ	夏	2	1	3									6					1	1	1	1	1				4																										
ハクセキレイ	留																																																			
ヒヨドリ	留	9	12	4	9	6	5	25	21	19	5	6	127	26	17	15	16	21	15	11	2	11	18	38	30	220	21	11	18	22	11	17	11	6	3	36	65	23	244													
モズ	留							1					1	2			1								3	1													1													
ルリビタキ	冬													1											2	1													1													
ジョウビタキ	冬							1					1												1														3													
トラツグミ	冬																																						1													
アカハラ	冬																																						1													
シロハラ	冬										2			5	2	2	1								10	6	2	4	1										13													
ツグミ	冬													2	2	2								2	6	5	1	5	1										14													
ウグイス	留									1	2		3	4	3	3								1	10	2	1	3	1	1	2								12													
エナガ	留								10		3		13	2	4	4	3							8	21	5		5	3										17													
ヤマガラ	留								4	1	3		10	1							2			1	5														2													
シジュウカラ	留	2	7	1	8	4	2	4	4	5	1		34	4	4	6	1	7	6	2	4	6	3	2	48	3	1	5	2	2	3	1						23														
メジロ	留													36	21	3	2	4	3	9	3	5	10	13	92	14	4	8	3	1								79														
アオジ	冬													3	5	2	3								10	7	3	3											12													
カワラヒワ	留	2									1		5	2	2	3	1	2	4						14	1	2	7	4	3	1							28														
イカル	冬																								1														1													
シメ	冬													1											1	2	2												4													
スズメ	留	3	10		3								16				1	10	7	3					21							4	19	9	1				33													
ムクドリ	留												3				2	1	2	1					6	6						10	3						19													
カケス	冬																								1	1	2												2													
オナガ	留																																																			
ハシボソガラス	留	1			5								7							1					2														7													
ハシブトガラス	留												4				1	2	2	4	2			3	20	2	2	2	2	4	1	1	3	2	4			26														
コジュケイ	留												7												7																											
シロハラorアカハラ	—																																																			
ジョウビタキorルリビタキ	—																																																			
不明	—																																																			
個体数		21	38	12	16	22	19	48	68	27	37	26	347	76	43	53	38	56	50	24	10	29	39	71	57	542	86	33	67	58	50	48	18	8	19	63	92	59	595													
種類		7	7	3	5	5	5	8	9	6	10	10	3	21	12	13	16	13	10	8	5	6	8	11	7	22	19	12	13	14	9	12	6	2	8	9	7	11	25													

※ 渡り鳥の区分 (留鳥、夏鳥、冬鳥) の基準は本文中に記載

Bird Census Report at Parks in Abiko City. (2003,2010,2011)

Izumi Shioda

Abiko City Museum of Birds, Kohnoyama 234-3, Chiba, 270-1145, Japan

KEY WORDS:Avifauna, count survey, public park, Abiko city, Chiba prefecture